



Top Message

Vision 2030 を目標に掲げ、 持続的な事業収益を目指します

代表取締役社長

中村 義一



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今期の進捗としましては、当社の主力プログラムである軟骨無形成症(Achondroplasia、ACH)に対する第Ⅲ相臨床試験を今春から開始できました。この薬剤は線維芽細胞増殖因子FGF2に対するRNAアプタマー(一般名 umedaptanib pegol)であり、第Ⅱ相臨床試験では身長促進効果を確認した当社の開発品です。加えて、この薬剤は2025年4月にはACHを対象に希少疾病用医薬品指定され、第Ⅱ相臨床試験から助成金の交付、上市後の再審査期間の延長等の優遇措置を受けております。現在進捗している第Ⅲ相臨床試験では、薬剤用量を増やし、また患者の対象年齢も2歳児に引き下げ、競合品に対して確かな優位性を持つ”Best in Class”の新薬を目指します。

また、当社は「Vision 2030」を策定しました。この詳細としましては、持続的な事業収益の実現を目指し、以下の重点領域を4つ設定しました。

- 拡張化:創薬事業の推進
- 実装化:次世代テクノロジーの推進
- 収益化:収益モデルの改革
- 効率化:経営基盤の改革

まずは「効率化」につきましては、先月の株主総会において、当社は監査役会設置会社から監査等委員会設置会社への移行を決議いたしました。これにより、取締役会の監督機能の強化と執行への権限委譲による意思決定の迅速化を図って、さらなる企業価値の向上を目指します。引き続き、ACHをはじめとする創薬事業の推進(「拡張化」)とともに、創薬支援事業を新たにビジネスモデルに加え(「収益化」)、次世代テクノロジーを応用に向け推進に努め(「実装化」)、持続的に事業収益を計上できる創薬企業へと向上を目指してまいります。

当社は、患者さんへ一刻も早く新薬を届けられるよう製薬企業とライセンス交渉を着実に積み重ねており、持続的な事業収益を目指してまいります。今後とも、株主の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

umedaptanib pegol(抗FGF2アプター)を用いた 軟骨無形成症治療薬の臨床試験の進捗報告、 Vision 2030 へ向けた持続的な事業収益を可能に

2026年7月末直近までのTOPICSをアプターくんが紹介します！

1 軟骨無形成症治療薬に関して

第II相臨床試験を完了：概念実証(POC)に成功

第II相臨床試験は、12名の小児患者(5～14歳)に対して、薬剤(umedaptanib pegol)の用量を0.3mg/kgで毎週、あるいは0.6mg/kgで隔週皮下投与し、有効性と安全性を評価しました。その結果、年間身長伸展速度については、途中休薬のあった1名

を除き、投与完了の計11名について、投与開始前に比較し、平均+1.4cm増加、統計学的有意差が認められました($p=0.04$)。また、安全性についても問題がありませんでした。

アプターで
伸びたぞ！

+1.4 cm/y



第III相臨床試験(WAKABA試験)を開始

第II相臨床試験の結果を受けて、薬剤承認を目的とした第III相臨床試験を開始しました。本試験では、2～14歳の16名の小児患者に対して、毎週1mg/kgの薬剤を1年間皮下投与して、投与開始前と投与後の年間身長伸展速度を比較し増加を評価します。この試験は、規制当局(PMDA)との協議の結果、プラセ

ボ(偽薬)や比較薬を用いない単群のオープン試験で実施することが許諾されました。また、第II相試験より投与薬剤量が3.3倍となっているため、年間身長伸展速度が平均+3.0cm以上の効果が期待されます。競合薬剤に対して確かな優位性を持つ“Best in Class”の新薬を目指します。

製薬企業との提携協議を加速

現在、国内外の多数の製薬企業が本薬の導入に高い関心を示しております。その中でも複数の企業が第III相臨床試験の完了前の導入に関心を示しており、具体的な提携協議を進めております。

また、米国・欧州以外の新興国やその他の地域では、日本を含む先進国で承認された医薬

品は規制当局の審査結果をもとに、承認プロセスを簡略化または短縮することができます。米国・欧州以外の地域の希少疾患専門企業からも問い合わせが入っており、多角的な早期の収益化を目指すよう協議を進めてまいります。

アプターくん MEMO

第II相臨床試験での、臨床医の先生方の薬の印象は？

- ・ 日本発の製剤
- ・ 既承認薬が多くないアプターという画期的な薬剤



- ・ 安全性プロファイルは良好である
- ・ 上肢に対して治療効果を感じるとの患者・保護者の声を聞く





2 Vision 2030 の遂行に向けて

収益モデルの改革: ビジネスモデルのアップデート

これまで、自社又は大学や製薬企業との共同研究で医薬候補となるアプタマーを開発し、その成果を製薬企業にライセンス・アウト、ライセンス対価を得る「創業事業」を当社のビジネスモデルとしてきました。本事業年度からは、自社開発した創業技術を活用し、製薬企業の創業を支援し対価を獲得する「創業支援

事業」を新たに加え、2事業で展開しています。「創業支援事業」では、脂質ナノ粒子(LNP)の表面に標的分子特異的なアプタマーを結合した薬剤送達技術(Drug Delivery System, DDS)の提供を実施し、すでに複数の企業との収益化を実現しております。

経営基盤の改革: 監査等委員会設置会社への移行

当社は、先月開催された第23回定時株主総会において、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社への移行を決議いたしました。これにより、取締役会の監督機能の強化と執行への権限委譲による意思決定の迅速化を

図って、さらなる企業価値の向上を目指します。今回の株主総会で新規に選任された監査等委員である社外取締役 貝阿彌氏・山本氏 両2名からメッセージをいただいております。

社外取締役(監査等委員)

貝阿彌 誠

弁護士

大手町法律事務所
元 東京家庭裁判所 所長
東京地方裁判所 所長



社外取締役(監査等委員)

山本 守

公認会計士

株式会社日本橋アカウンティング
サービス
代表取締役社長
元 あずさ監査法人
代表社員・パートナー



本年6月、社外取締役(監査等委員)に就任しました。裁判官を定年退官した後、弁護士として、企業の社外役員等を務め、また企業等における不適切行為についての調査委員会の仕事等もしてきました。当社は、病気で困っている人のために役立つ薬を開発することにより社会に貢献しようとする会社ですが、その目的に共鳴し、法曹としての知識、経験を活かして特にコンプライアンス面での監督、助言をすることなどにより当社の前進、発展に寄与したいと思っています。

本年度より、(社外)取締役監査等委員に就任いたしました。大手監査法人のパートナーとして長年勤務した経験から、ならびに公認会計士として、培った財務会計、内部統制、リスク管理およびコーポレート・ガバナンスに関する専門的知見を活かし、バイオベンチャーであるリボミックの研究開発の進展と企業価値向上を支えるべく、株主の皆様の視点を大切にしながら、独立した立場から適切な監督と助言に努めてまいります。



会社概要・株式の状況

会社概要 (2026年3月末現在)

会 社 名	株式会社 リボミック
設 立	2003年8月1日
資 本 金	872百万円(資本剰余金 5,156百万円)
本 社	〒108-0071 東京都港区白金台3丁目16番13号 白金台ウスイビル6階
子 会 社	RIBOMIC USA Inc.(米国、CA)
従 業 員	25名 (PhD 14名)

マネジメントチーム (2026年6月末現在)

代表取締役社長	中村 義一
取締役執行役員 研究開発本部長	安達 健朗
取締役(社外)	松藤 千弥
取締役(社外)	藤原 俊伸
社外取締役(監査等委員)	西畑 利明
社外取締役(監査等委員)	貝阿彌 誠
社外取締役(監査等委員)	山本 守

株主の状況 (2026年3月末現在)

発行可能株式総数	114,000,000株
発行済株式総数	54,332,640株
株主数	24,119名

株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

1単元の株式数	100株
証 券 コ ー ド	4591
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

株式に関するお問い合わせ先 三井住友信託銀行株式会社



0120-782-031 (通話無料)

郵送先

〒168-0063
東京都港区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部



IRのお知らせ

● IRメール配信サービス

当社が開示した情報を配信する、IRメール配信サービスを実施しております。
ホームページのトップ画面の右上のバナーから登録できます。
ご希望の方は是非ご登録ください。



IRメール配信サービス

クリック！



● IRに関する お問い合わせ 及び 回答

お問合せについてはホームページの「お問い合わせ」からお尋ねいただき、
フェアディスクロージャーの観点から後日「皆様からのQ&A」にて回答をさせていただいております。

皆様からのQ&A

<https://www.ribomic.com/ir/faq.php>

RIBOMIC

株式会社 リボミック

〒108-0071
東京都港区白金台3丁目16番13号

<https://www.ribomic.com/>



UD
FONT